

TOTO

2ハンドル湯水混合水栓

TLH22S2型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。
	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	湯水を逆配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温で使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。
	ハンドル部は陶磁器製です。 熱湯を注いだり、衝撃を与えないでください。 陶磁器が破損し、けがをするおそれがあります。 取り扱いには十分ご注意ください。
	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。 故障や水漏れの原因になります。

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	
用途	一般住宅洗面所用	

3 取付け前に

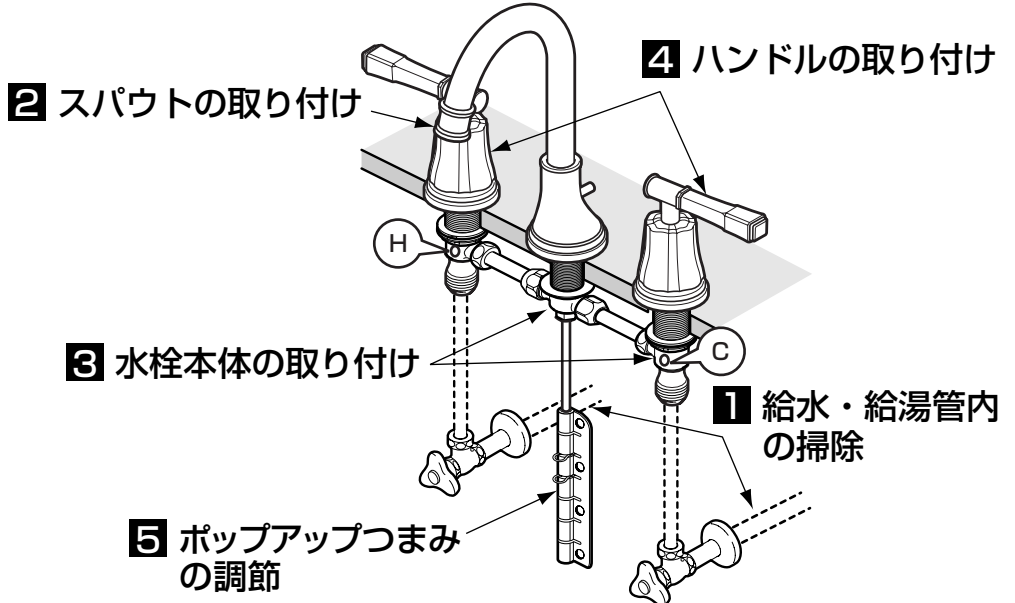
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

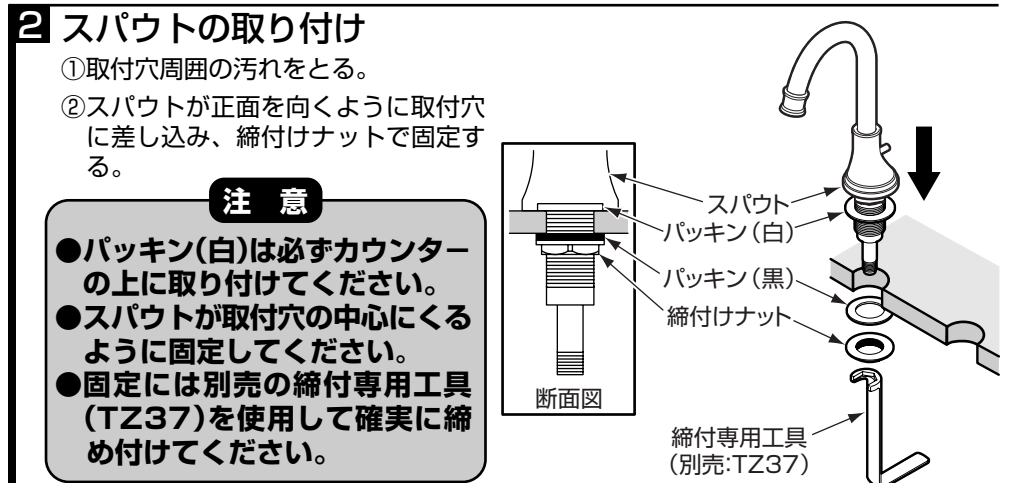
水栓本体部	ハンドル部	スパウト部
水栓本体		スパウト
その他		
施工説明書 六角棒レンチ		スナップピン 引棒連結金具

6-1 施工手順



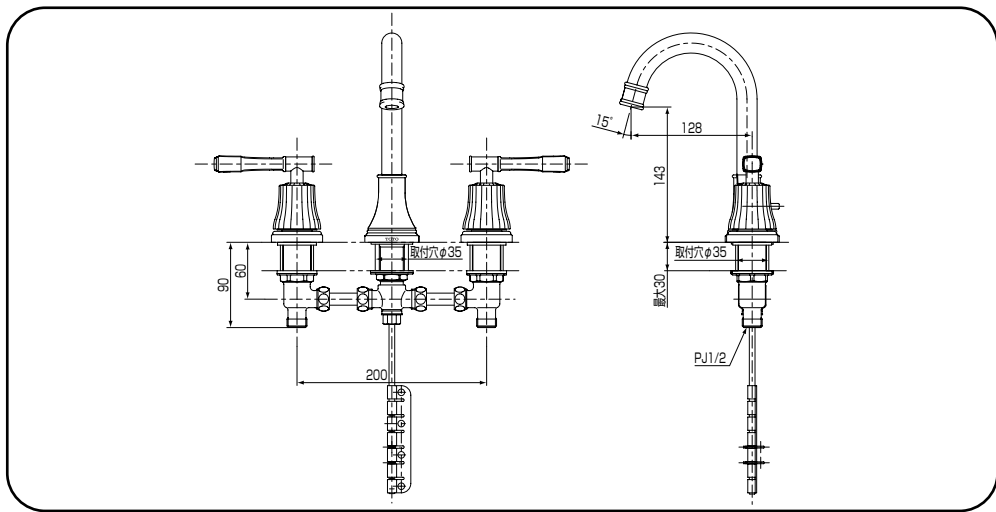
1 給水・給湯管内の掃除
取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要



5 完成図

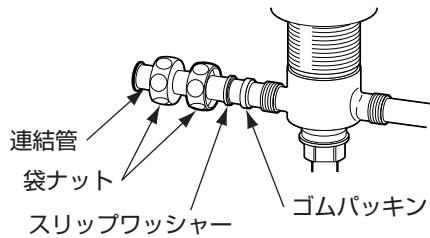
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-2 施工手順

3 水栓本体の取り付け

① 連結管を仮固定する。

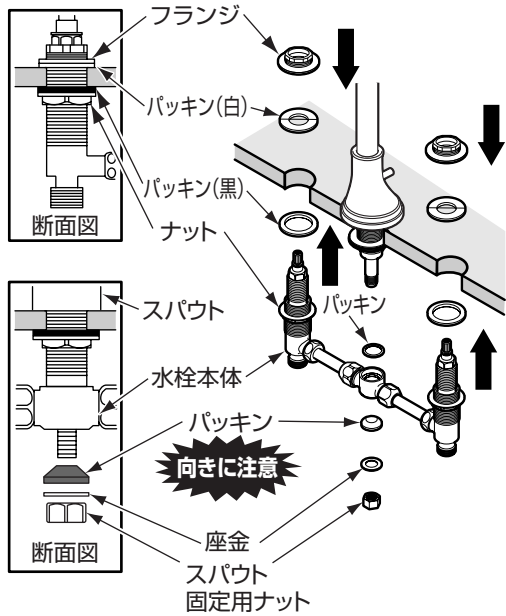


② ナットを下まで下げておく。

③ 水栓本体をスパウトに差し込み、パッキン・座金を入れてスパウト固定用ナットで固定する。

注意

● パッキンはなくさないように注意してください。



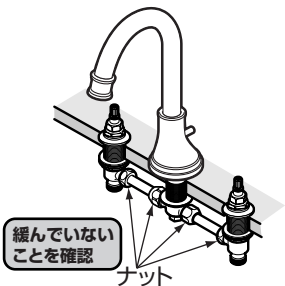
④ 水栓本体が傾かないようにナットの位置を調整してから、フランジで水栓本体を固定する。

注意

● パッキン(白)は必ずカウンターの上に取り付けてください。
● スパウトとの高さの心合わせはナットで調整してください。

⑤ 水栓本体のナットが緩んでいないことを確認する。

※ 緩んでいる場合は、増し締めして、しっかり固定してください。



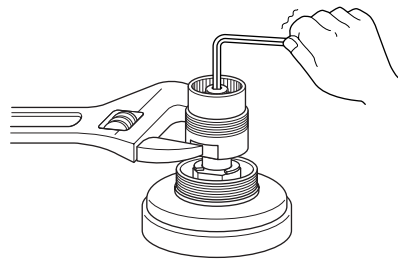
4-1 ハンドルの取り付け(1)

① フランジにカバーを取り付ける。

② 座金をばね座金、平座金の順に六角穴付ボルトに挿入し、ブッシュ(樹脂)とブッシュ(メタル)を六角穴付ボルトで本体側スピンドルに固定する。

注意

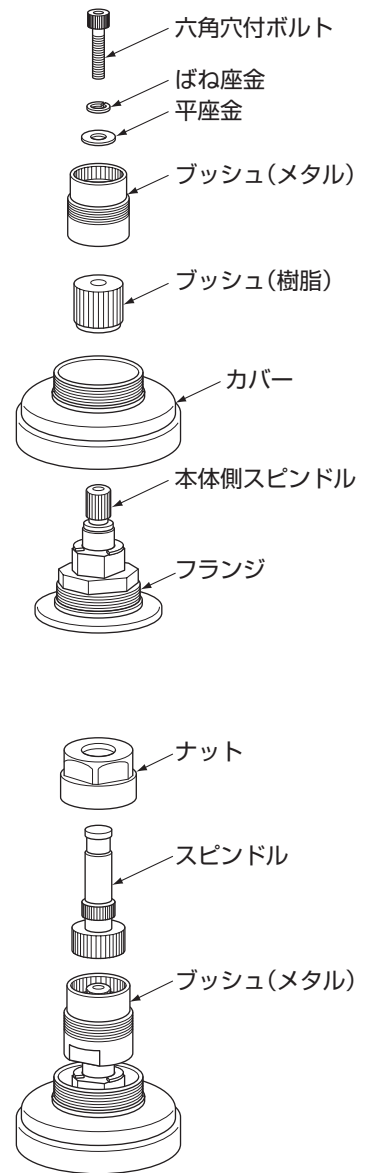
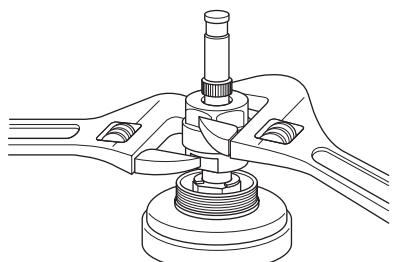
六角穴付ボルトは、ブッシュを工具で固定してしっかり締め付け、さらに増し締めしてください。



③ スピンドルをナットでブッシュ(メタル)に固定する。

注意

ナットも、ブッシュを工具で固定してしっかり締め付けてください。



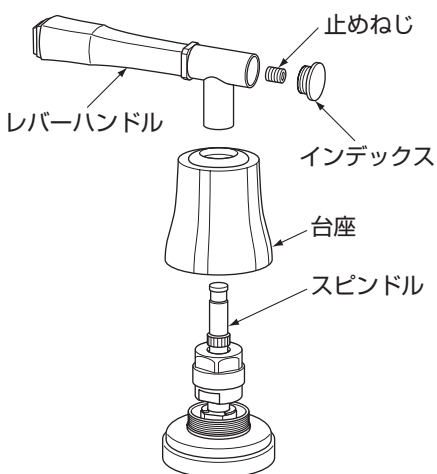
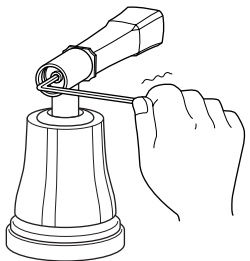
6-3 施工手順

4-2 ハンドルの取り付け(2)

④ 台座をカバーに取り付け、レバーハンドルを止めねじでスピンドルに固定する。

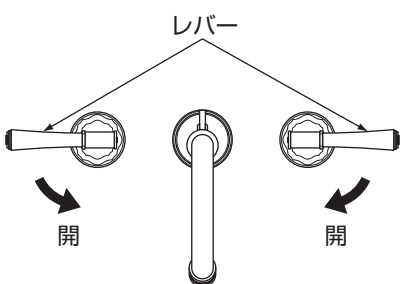
注意

止めねじも、しっかり締め付けてください。



注意

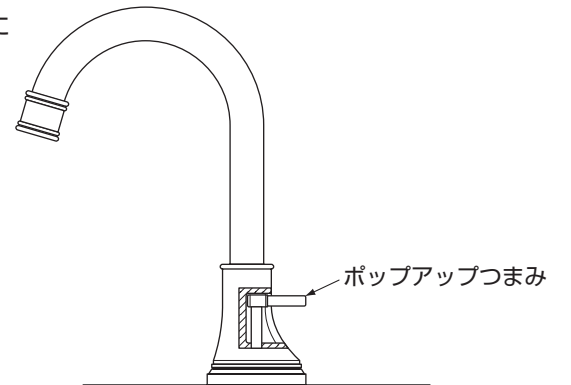
ハンドルを閉じたとき、レバーが上図の位置になるように取り付けてください。



⑤ インデックスをはめ込む。

5 ポップアップつまみの調節

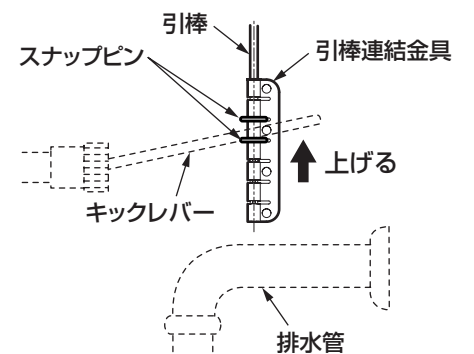
① ポップアップつまみをいっぱい上げる。



② キックレバーをいっぱい上げた状態で、スナップピンを差し込む。

注意

取り付け時、引棒を押し曲げないでください。上下作動が固くなるおそれがあります。また、スナップピン差し込み穴の調節は、引棒を下げながら差し込んでください。

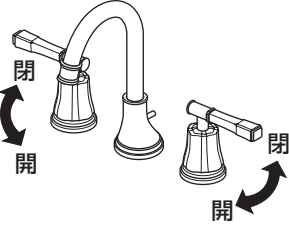


③ ポップアップつまみをいっぱい押し下げたとき、排水管にあたらないように確認する。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

スパウト固定用ナットおよび水栓本体のナットはしっかり締め込まれていますか？

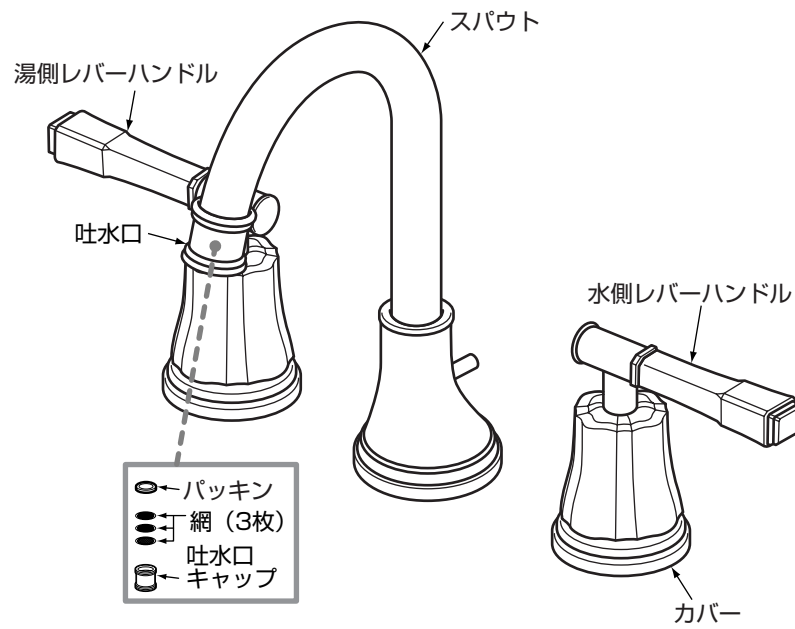
➡ 6.2 - 3 「水栓全体の取付け」参照

流量の確認

流量が少ない場合は、次の項目を確認してください。

吐水口のごみづまりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。



ポップアップの動作確認

ポップアップ式の場合は、ポップアップの動作がスムーズに行えるか確認してください。

ポップアップつまみを押し下げたとき本体や排水管にあたっていないか。

➡ 6.3 - 5 「ポップアップつまみの調節」参照

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

スパウトはしっかり固定されていますか？

➡ 6.1 - 2 スパウトの取付け

レバーハンドル・台座の緩みはないですか？

➡ 6.2 - 4-1 ハンドルの取付け(1)

6.3 - 4-2 ハンドルの取付け(2)